

MS-Word テキストボックス内への押印

作成日： 2012-7-10

作成者： とろろこんぶシステム工房 小野寺健一

概要

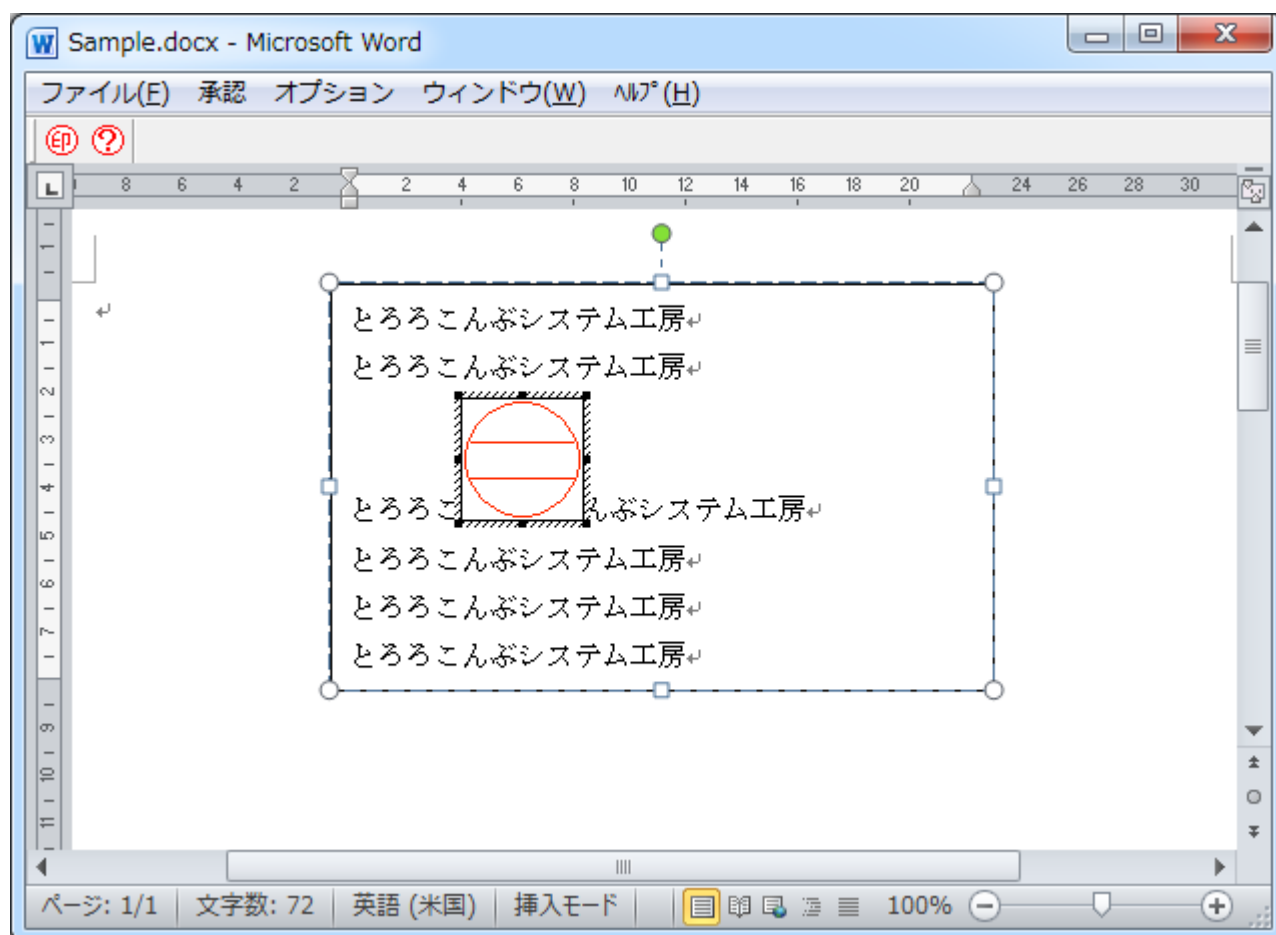
Word のテキストボックス内に OLE オブジェクトを挿入する場合は InlineShape オブジェクトとして挿入する必要があります。

Shape オブジェクトとして挿入しようとした場合、エラーになることがあります。

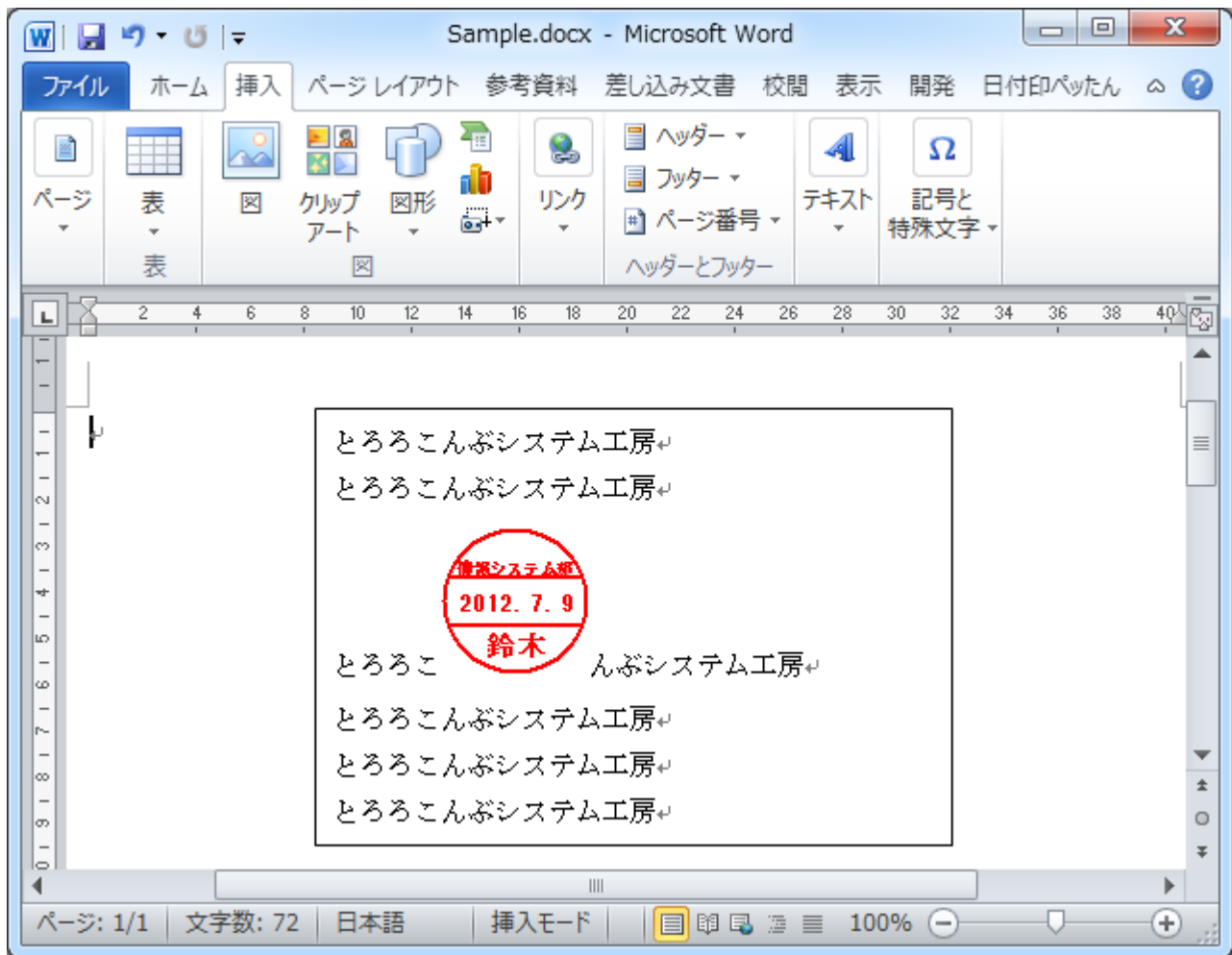
注) InlineShap オブジェクト、Shape オブジェクトについてはテクニカルノート tn001「MS-Word 押印メニュー 「オブジェクトの挿入」マクロコマンド」を参照してください。

解説

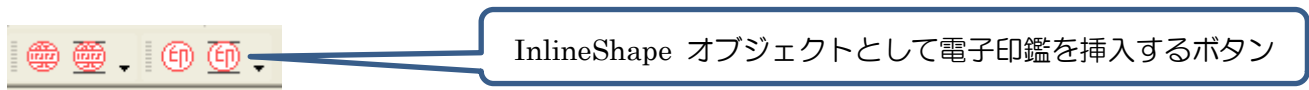
■InlineShape オブジェクトとして OLE オブジェクトを挿入する場合



Word のテキストボックス内に OLE オブジェクトを挿入する場合は InlineShape オブジェクトとして挿入します。



Word2003 用の押印メニューには InlineShape オブジェクトとして電子印鑑を挿入するボタンが用意されていますので、このボタンを利用します。



Word2007/2010 用の押印メニューには InlineShape オブジェクトとして電子印鑑を挿入するボタンは用意されていませんが、Word に標準で備わっているボタン「オブジェクトの挿入」を用いることで InlineShape オブジェクトとして電子印鑑を挿入することができます。

具体的なマクロコマンドは次のようなものになります。

```
ActiveDocument.InlineShapes.AddOLEObject ClassType:="Petta. Document"
```

■Shape オブジェクトとして OLE オブジェクトを挿入しようとした場合

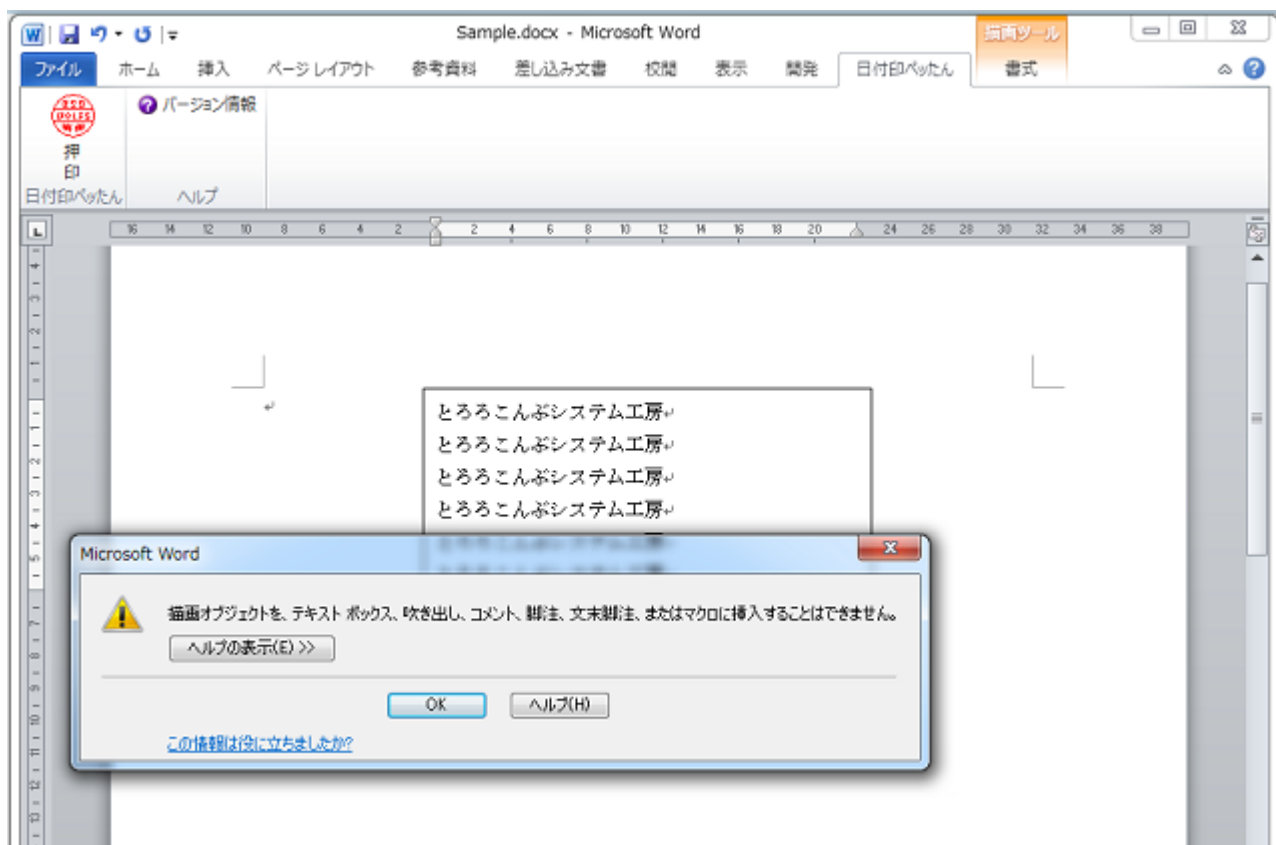
Word のテキストボックスに Shape オブジェクトとして OLE オブジェクトを挿入しようとする、テキストボックスには入らずに、ページの左上に押印されます。

具体的なマクロコマンドは次のようなものになります。

ActiveDocument.Shapes.AddOLEObject ClassType:="Petta.Document"

■エラーとなる場合

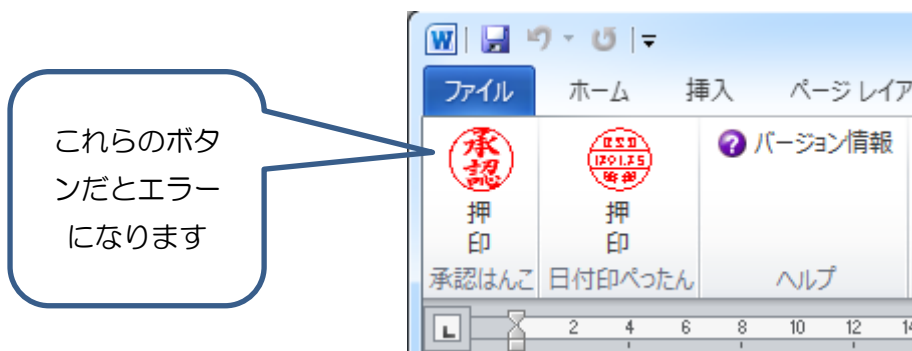
Word のテキストボックスに Shape オブジェクトとして OLE オブジェクトを挿入しようとする際、AddOLEObject メソッドに 引数 Anchor:=Selection.Range を設定するとエラーとなります。



具体的なマクロコマンドは次のようなものになります。

ActiveDocument.Shapes.AddOLEObject Anchor:=Selection.Range, ClassType:="Petta.Document"

とろろこんぶ電子印鑑の押印メニューはこのコマンドを用いていますので、上記のエラーが表示されます。



■対策

テキストボックスに押印する場合は、とろろこんぶ電子印鑑に備わっている押印メニューを用いずに Word の標準コマンド「オブジェクトの挿入」を利用してください。

間違って押印メニューボタンをクリックしてしまってエラーが表示されるのを防ぎたい場合は、押印マクロを編集してください。

```
ActiveDocument.Shapes.AddOLEObject Anchor:=Selection.Range, ClassType:="Petta.Document"
```



```
ActiveDocument.Shapes.AddOLEObject ClassType:="Petta.Document"
```

「Anchor:=Selection.Range」を除けばエラーは表示されなくなりますが、カーソルから離れた位置（ページの左上）に押印されるようになりますので、少々使いにくくなるのでお勧めいたしません。

テキストボックスを承認枠として用いている場合は、あらかじめ印鑑を挿入しておき、押印の際は印鑑をダブルクリックするという方法もあります。この方法なら、押印メニューを用いずに済みます。

		
部門長	所属長	担当者

テキストボックスを用いずに、表を押印枠として用いる方法もあります。

おわり

問い合わせ先： とろろこんぶシステム工房 support@tororokonbu.jp